

## 平成 28 年度 地産地消コーディネーター派遣事業報告会

地域で採れた農林水産物を地域で消費する「地産地消」は、味覚や鮮度の良さ、産地が近い安心感等から消費者の支持を集め、食育効果を期待する学校給食や健康増進を志向する施設給食等の現場でも地場産農林水産物（以下「地場産物」という）の使用が広がっています。

しかしながら、生産現場と給食現場の間では、地場産物の質、量、規格、供給体制などの面で課題があり、これらの課題を解決し、利用拡大を進める調整組織や調整役の存在が求められています。この事業では、学校給食・施設給食等の現場における地場産物の利用拡大と定着に向け、地域からの申請に基づき地場産物の供給体制づくりに詳しい専門家（地産地消コーディネーター）の派遣を行う事業です。

この派遣事業により本年度活動を進めた地域の活動報告を行い、成果や課題を広く共有し、今後の学校給食や施設給食における地場産物の利用拡大につなげることを目的として、派遣事業報告会を開催します。

### 1 開催日時

平成 29 年 3 月 14 日（火）10：00～12：30

### 2 開催場所

エッサム神田ホール 1 号館 4 階「大会議室」

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2 TEL03-3254-8787 ※JR 神田駅北口・地下鉄銀座線神田駅より 2 分

### 3 参加定員 50 名

参加対象：学校や施設給食等において、地産地消による地場産物活用の推進に関わる方なら、どなたでも参加できます。（想定される参加者：学校給食等の分野において地産地消のコーディネーター役として活動、また今後、活動を予定している実践者、学校給食関係者、生産者、流通関係者、行政関係者など）

### 4 参加費 無料（事前登録制）

### 5 参加申込方法

別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、事務局まで送付して下さい。事務局より受付確認メールをお送りします（申込み後1週間以内）。定員となり次第、受付を終了します。申込後に、参加者の変更や取り消しがある場合は必ず事務局までご連絡をお願い致します。

### 6 その他連絡事項

- ・会場までの交通機関は、各自でご手配・ご負担ください。都内の宿泊が混み合う時期となりますので、ご宿泊予定の方は早めにご手配下さい。
- ・前日の 3 月 13 日（月）10：30～16：30 には「地産地消コーディネーター育成研修会（東京会場）」を実施します。本研修も学校や施設など給食事業における地場産物活用に役立つ内容ですので、併せてご参加されることをお勧めします。

#### 事務局・お問い合わせ先

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）

業務部 地域活性化チーム 上野・森岡・吉岡

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 4-5 番地 神田金子ビル 5F

電話 03-4335-1984 FAX 03-5256-5211 (9:30～17:45 土日祝祭日をのぞく)

URL: <http://www.kouryu.or.jp> E-mail: [chisan@kouryu.or.jp](mailto:chisan@kouryu.or.jp) 東京都知事登録旅行業第 2-5925 号

## 地産地消コーディネーター派遣事業報告会の内容

(敬称略)

9 : 00 受付・開場

9 : 30 開会・挨拶

9 : 40 派遣事業報告

★派遣事業報告(各地域下記の1～3の内容で約30分を予定)

1. 派遣事業報告 15分

①現状 ②課題 ③実施および指導内容 ④派遣成果および効果

2. 専門家講評 5分

3. 質疑応答 10分

・南アルプス市教育委員会(山梨県)

・奥出雲町食育推進委員会(島根県)

・備前福岡の市圏地産地消推進協議会(岡山県瀬戸内市)

・南大東村地産地消促進協議会(沖縄県)

・その他

12 : 00 今後の展開 ～地場産活用のさらなる拡大に向けた今後の展開法について～

12 : 30 終了

★報告会では本年度各地で指導を頂いた下記の専門家の皆様にご出席頂く予定です(敬称略)

(本年度現地指導を行って頂いた専門家の皆様)

・金田 雅代 女子栄養大学名誉教授(南アルプス市)

・杉木 悦子 朝日村立朝日小学校 栄養教諭(南大東村)

・田路 永子 (公財)兵庫県学校給食・食育支援センター 食育支援専門員(奥出雲町・瀬戸内市)

・江草 聡美 (株)バイトマーク シニア野菜ソムリエ(瀬戸内市)

・福山 隆志 唐津市立浜玉中学校 栄養教諭(奥出雲町)